

地域再生計画評価調書(まち・ひと・しごと創生寄附活用事業効果検証調書)

地域再生計画の名称	今治市まち・ひと・しごと創生推進計画	地域再生事業の名称	今治市まち・ひと・しごと創生推進事業	令和6年度評価
-----------	--------------------	-----------	--------------------	---------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標	基準年数値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度								達成度についての分析
			2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	最終年目標数値 2025年	
目標1 転出超過数(新たな雇用を創出し抑制)	807 人	目標(累計)	677 人	569 人	478 人	401 人	336 人	人	人	目標1の転出超過数は、令和6年の実績値が740名で、目標値を404人下回った。実績値は令和5年と比較しても大きな変化はないが、目標数値が毎年減少する設定のため、達成度(転出超過数)は令和5年を下回っている。
		実績(累計)	677 人	1,246 人	1,724 人	2,125 人	2,461 人	人	人	
		達成度	転出超過数が想定より84人抑制された。	転出超過数が想定を124人上回った。	転出超過数が想定を140人上回った。	転出超過数が想定を250人上回った。	転出超過数が想定を404人上回った。			
		593 人	693 人	618 人	651 人	740 人	人	人		
目標2 子育ての環境や支援の満足度の割合	17.3 %	目標	%	%	%	17.3 %以上	%	%	%	目標2の子育ての環境や支援の満足度の割合について、今治市子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査を実施し、目標値を7.6ポイント上回った。平成30年実施の前回調査以降、少子化対策として様々な子育て支援施策を実施したこと、今治版ネウボラの伴走型子育て支援が要因と思われる。
		実績	(次回アンケートR5年度実施予定)				24.9 %			
		達成度				143.9%				
目標3 観光入込客数	275.6 万人	目標	289.2 万人	292.0 万人	295.1 万人	298.7 万人	302.8 万人	万人	万人	目標3の観光入込客数については、目標に対する達成度は、-29.4%となった。令和5年と比較して、中国・四国地方の近隣県からの観光客数は増加したが、関東圏からの観光客数が減少している。物価高騰や旅行スタイルの変化などにより、遠方旅行が減少傾向にあることが要因と考えられる。
		実績	138.6 万人	121.2 万人	207.3 万人	264.9 万人	267.6 万人	万人	万人	
		達成度	49.7%	56.0%	24.8%	3.9%	2.9%			
目標4 住み続けたいと感じる市民の割合	79.0 %	目標	%	%	%	%	79.0 %以上	%	%	目標4の住み続けたいと感じる市民の割合について、第3次今治市総合計画策定のための市民アンケートを実施し、目標値を3.7ポイント下回った。地域別での割合に差があったため、各地域に応じた施策が必要だと考えられる。
		実績	(次回アンケートR6年度実施予定)				75.3 %			
		達成度					95.3%			

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附の実績

寄附受入れ額計		317,800千円		
法人名	本社所在地	寄附額	寄附対象事業	
(別紙のとおり)				

寄附活用事業の実績及び今後の方針等

寄附金を充当した主な事業	事業費	寄附受入額	主な取組
「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクト	295,300千円	295,300千円	【「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクト】 今治市ホームページ等に掲載し、プロジェクトを広く周知した。また、企業版ふるさと納税としていただいた寄附金を、スポーツ振興基金に積み立てた。
未来を創る、生きる力を育む教育(充実した教育環境の整備)事業	-	物品寄付	【未来を創る、生きる力を育む教育(充実した教育環境の整備)事業】 ハンドソープを各小中学校へ配布した。
災害に強いまちづくり	29,709千円	(非公表)	【災害に強いまちづくり】 緊急用食料や生活必需品等を備蓄した。
空き家を活用した移住・定住支援	22,028千円	2,500千円	【空き家を活用した移住・定住支援】 今治市の空き家対策事業として、空き家バンクに登録した家屋を改修し賃借を行う者に対して、改修費用の補助を行うことで、市内空き家市場の活性化を図り、空き家の廃屋化を防ぐほか、移住者に対し住宅の新築又は購入に要する経費を支援した。
定住自立圏共生ビジョンの推進	-	物品寄付	【定住自立圏共生ビジョンの推進】 「合併20周年記念LEDモニュメント」を設置した。
未来を担う子どもたちをみんなで育むふるさとを創る事業	7,371千円	(非公表)	【未来を担う子どもたちをみんなで育むふるさとを創る事業】 人財派遣制度を活用して外部専門人材を職員として雇用するほか、子育て支援に係る消耗品等を購入した。
今治版ネウボラの推進及び拠点施設の整備事業	501,163千円	1,000千円	【今治版ネウボラの推進及び拠点施設の整備事業】 企業版ふるさと納税としていただいた寄附金を、こども未来基金に積み立てた。
災害対策事業	59,195千円	(非公表)	【災害対策事業】 火災をはじめとする災害発生時に消防活動等の緊急対応を行った。
事業効果及び今後の取組			
<p>【「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクト】 FC今治サッカー専用スタジアムを核とした次世代文化・交流拠点づくりにより今治市全体の活性化、情報発信を推進した。FC今治のJ2昇格により、今後は周辺整備(スタジアムの増席や大型モニター設置など)が急がれる。当初の寄附目標は達成したが、引き続き周辺整備でのプロジェクトを推進し、アシックス里山スタジアムも拠点の一つとして今治市のスポーツ全体を盛り上げていきたい。また、ディスクッターや囲碁ボールを購入し、イベント等で紹介したことにより、老若男女障害の有無に関わらず軽スポーツに親しんでもらうことができた。これまで習慣的にスポーツをしてこなかった人にもスポーツをする糸口とすることができた。他にもスポーツ協会を通じて備品購入を補助したり、指導者育成の支援をすることで、今治市のスポーツの振興に寄与することができた。子どもの体力の低下が問題視されるなか、プロによる走り方の指導や基礎体力向上の方法を市内の小中学生を対象に行い、ほぼ全ての生徒がタイム向上に繋がり、走ることに楽しさを実感できたなどの報告がなされている。今後も引き続き、市民一人ひとりが何らかのスポーツに親しみ、仲間と集い、地域を盛り上げ、今治市全体の健康増進につながるよう企業版ふるさと納税を活用した事業を展開していく。</p> <p>【未来を創る、生きる力を育む教育(充実した教育環境の整備)事業】 衛生面をはじめとする教育環境を整備し、児童生徒の衛生環境を整えた。今後も児童生徒の教育環境の整備に取り組んでいく。</p> <p>【災害に強いまちづくり】 災害発生時の避難生活の安定及び安全、質の向上を図った。今後も災害に強いまちづくりを推進していく。</p> <p>【空き家を活用した移住・定住支援】 空き家の利活用や人口減少抑制による集落機能の維持存続を推進した。今後も空き家バンク制度等の周知を行い、空き家の利活用増加や人口減少の抑制に努める。</p> <p>【定住自立圏共生ビジョンの推進】 今治市合併20周年記念事業関連イベントのアイキャッチとなり、市民の一体感を醸成した。今後も推進を図っていく。</p> <p>【未来を担う子どもたちをみんなで育むふるさとを創る事業】 外部人材が子育て支援策に関わることで、より細やかなサービスを行い、「こどもが真ん中のまちづくり」を一層進めていく。</p> <p>【今治版ネウボラの推進及び拠点施設の整備事業】 今治版ネウボラを推進するための体制づくりを進めるとともに、子育て支援施策の中核を担う拠点施設整備の基本計画を公表し、発注に向けた仕様の策定等を進めていく。</p> <p>【災害対策事業】 緊急対応を行うことで、消防等機能の充実を図った。</p> <p>【全体】 企業版ふるさと納税を活用した事業について周知するとともに、市外企業からの寄附につなげることができた。今後も、寄附を検討する市外企業にわかりやすい寄附対象事業の周知方法を検討するとともに、広く周知していく。</p>			

評価及びそれを受けての市の方針

外部有識者による評価	議会からの意見	今後の方針、改善点など
<p> <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない 今後の方針のとおり事業を進めることで了承した。 </p>	<p>特段の指摘なく了承された。</p>	<p>今後も、寄附を検討する市外企業にわかりやすい寄附対象事業の周知方法を検討し、広く事業を周知していく。また、寄附企業との官民連携による地方創生事業のより一層の推進を図る。</p>